※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（建築系列）

教科	工業	科目	建築実習ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物の工事に関する技術を実習を通じて学習します。
専門用語が多数でてきますので、疑問に思うことや分からない言葉がでた場合、質問や自分で調べてすぐに理解できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

〇建築工事に関する各種の工法，工事監理，積算など建築施工に関する知識と技術を身につける。
〇建築工事の現場を観察し、建築工事を安全かつ適切に実施するための思考・判断力などを養う。
〇建築施工の方法及び技術の習得に前向きに取り組む姿勢を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。また、実際の建築工事の現場を観察し、実務的な技能を身につけようとしている。	建築工事に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。	自主的･継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	建築の業務・工事準備・土工事	１．建築工事の流れ ２．工事契約 ３．現場組織の編成 ４．施工計画と施工管理 ５．地盤と敷地の調査・確認 ６．仮設工事 ７．土工事・山留め ８．杭工事 ９．地業工事	a:工事準備などに関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。また、実際の建築工事の現場を観察し、実務的な技能を身につけようとしている。 b: 工事準備などに関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c: 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	課題の作成状況 技術の習得状況	作業レポート	課題の取り組み状況 振り返りシート
	躯体工事・内装仕上げ工事・建築積算	１．木構造の工事 ２．鉄筋コンクリート構造の工事 ３．鋼構造の工事 ４．内装・仕上げの工事 ５．積算の基本事項 ６．工事費の構成 ７．積算の方法	a:躯体工事などに関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。また、実際の建築工事の現場を観察し、実務的な技能を身につけようとしている。 b: 躯体工事などに関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c: 自主的・継続的な学習を通じ、技術に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	課題の作成状況 技術の習得状況	作業レポート	課題の取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度